

総合戦略施策評価シート（平成28年度実績）

基本目標	二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくる
施策	特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成
概要	児童生徒の確かな学力とたくましく生きるための体力の向上を柱に、特色ある学校づくりによる教育内容の充実と、地域活動への参加等の体験活動を通じた地域社会との連携を推進する。 また、児童生徒一人ひとりの成長に寄り添ったきめ細やかな支援を行うとともに、将来を見据えた学校教育、学校施設のあり方について検討を行う。

数値目標

指標名	基準値	目標値
二宮町の人口	28,479人 (平成27年9月1日現在)	27,168人以上 (平成31年度実績値)
二宮町の社会移動数	転出超過213人 (平成26年度住民基本台帳)	転出超過58人以下 (平成31年度実績値)

重要業績評価指標(KPI)

指標名	実績の推移					目標値	備考
	基準値	H28	H29	H30	H31		
将来の夢や目標を持っていると回答した児童生徒の割合	57.1%	59.7%				70.0%以上	
これからも運動を続けたいと思うと回答した児童生徒の割合	60.1%	67.6%				70.0%以上	
【説明欄】(進捗状況・数値で表せない指標について)							

総合戦略プロジェクト評価

プロジェクト名	総合評価
子どもたちの「生きる力」創造プロジェクト	I
成果や課題 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・2年継続で行っている一色小学校へのコミュニティ・スクール導入準備については28年度は研修や啓発活動を中心に取り組んだが、地域の方々の理解を深め、協力体制を整えていくには、更なる取組が必要である。 ・小中一貫教育の検討を含む、将来を見据えた学校教育、学校施設のあり方については、検討の方向性を整理した。今後、実行計画を策定する予定である。 ・このプロジェクトは地域や様々な人々の多様な力を借りて学校づくりを行い、児童生徒を育てていくものであり、地域や人々との連携や情報の共有を特に重視していく。

該当評価にレを入れてください

【参考】(総合戦略プロジェクト評価の評価指標／一部抜粋)
 I：プロジェクトとして良好であるため、引き続き推進する
 II：一部、事業を改善する必要がある
 III：プロジェクト全体を見直す必要がある
 IV：プロジェクトを休止・廃止する

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
	<input type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
	<input type="checkbox"/>	3:施策全体を見直す必要がある
	<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
	<input type="checkbox"/>	5:その他
	説明	これまでの取り組みにより、一定の理解を得てきたが、学校と保護者、地域が力を合わせて学校運営に取り組む環境づくりを目指し、さらなる理解と協力を得るため、引き続き、分かりやすく、丁寧な対応に努める。

今後の方向性

来年度に向けての課題や意見等	<p>コミュニティ・スクールについては、啓発や情報発信等に工夫をし、地域の参加を広げる。また、モデル校として先行導入を目指している一色小学校に続き、他校においても導入に向けた準備を進める。</p> <p>小中一貫教育については、コミュニティ・スクールとの有機的な連携も見据え、今後の学校のあり方も含めた研究を継続する。</p>
----------------	---

最終評価者 [庁内評価委員会]

<input checked="" type="checkbox"/>	1:基本目標の達成に向け、講ずべき施策として良好であるため、引き続き推進する
<input type="checkbox"/>	2:施策の進捗状況は順調であるが、さらなる推進のためには、一部、プロジェクトを改善する必要がある
<input type="checkbox"/>	3:施策を構成するプロジェクトを含め、施策全体を見直す必要がある
<input type="checkbox"/>	4:施策を休止・廃止する
<input type="checkbox"/>	5:その他[]

意見等	<p>二宮の強みを活かした魅力ある暮らしを提案し、新しい人の流れをつくるために、特色ある学校教育による子どもたちの生きる力の育成は重要な施策であることから、各種取り組みを推進したところ、KPIの進捗については概ね順調であるものの、施策による効果の検証は短期間で判断しがたいため、引き続き、着実な取り組みの推進が必要である。</p> <p>今後さらに施策を推進するために、地域の資源を最大限活かした教育活動の充実を図るとともに、学校と地域が連携を図り、一体となって教育活動に取り組む。併せて、将来を見据えた学校教育・学校施設のあり方については、学校、家庭そして地域が互いの役割を認識し、子どもたちの教育に対する共通の認識と目標の下、検討を進める。</p>
-----	--